

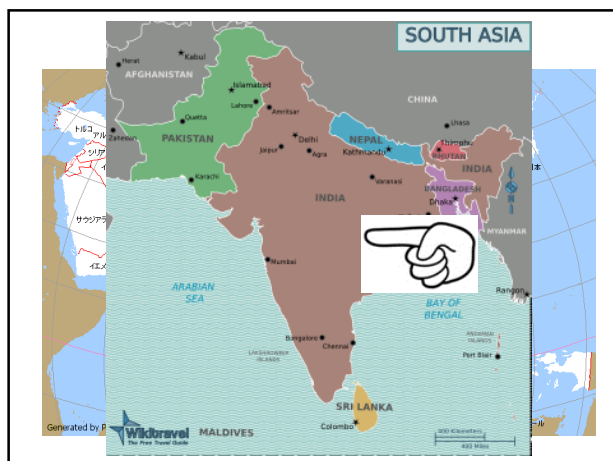
4月27日
今日のお話

インド「ひび割れた
水瓶の話」



ある人が、見かねて、「一つの水瓶(みずがめ)にはヒビが入っていて、家に着く頃には水がほとんどこぼれてしまっているのに気付いていないのですか？新しい瓶(かめ)に交換した方がいいですよ。」と忠告しました。

すると、水を運んでいた人が、「分かっていたよ、でもほらご覧なさい、私が歩いて来た後を.....」と言って後ろを振り返りました。するとどうでしょう、そこにはずうっととてもきれいな花がはるか向こうまで咲いていたのです。



この水汲み人は、瓶(かめ)から水かもれているのが分かってから、自分の歩く所に花の種を蒔いていたのです。毎日毎日、その種にヒビの入った水瓶から水がしたたけ落ちて、種は芽を出し、素晴らしく美しい花を咲かされたのです。

生徒の皆さんの中には、私は勉強が出来ないから駄目だ！とか、運動神経が鈍いから駄目だ！とか、人と比べて劣るところがあり駄目など、自信なく生活している人がいるかもしれません。でも、今、ヒビの入った水瓶(みずがめ)の話をしたように、どんなものにも、どんな人にも、継続すれば必ず社会に役立つところがあるのです。全ての人に役割があって、それを果たす能力も備わっているのです。

遠く離れた川から一人の水くみの人が二つの水瓶(みずがめ)に水を汲んで運んでいました。この瓶(かめ)のうち、ひとつにはヒビが入っていました。何度も何度も川から水を汲んでは重たい瓶を両肩に載せて家まで運びます。ヒビの入っていないちゃんとした水瓶は家まできっちり水を運ぶことが出来ました。

しかし、ひびの入ったかめは、せつかく川で水を満タンにしても、家に着く頃にはヒビから水がこぼれて、ほとんどからなくなってしまっています。このように水くみ人は、毎日毎日同じように水を汲んでは運んでいました。

学級の中や学校行事などで
自分の中にある役割や能力は一体何なのかを、考え、そして気付く一年にして欲しいと思います。

適材適所！＝
その人の能力に最も合った役目
どの人にも役割・
能力があります！

